次世代省エネ型オフィスモデルの構築と運用

(オフィス) 2017年度産構審WG報告

平成28年省エネ大賞省エネルギーセンター会長賞受賞 株式会社東芝、NREG東芝不動産株式会社 野村不動産株式会社、株式会社日建設計、 株式会社大林組

- ▶ ビルの建設計画から運用段階に至るまで、ユーザー・事業者・設計者が一貫した連携体制を組み、 高効率なシステム構築とその性能の最大化を図ったプロジェクト。
- ▶ 高効率かつ省エネなエレベーター・空調・照明の採用、建物構造の工夫に加えて、ビル設備機器を "スマートBEMS"で制御することにより、快適性と省エネを両立。

■ 多様な設備をスマートBEMSで統合管理





テナント企業の 一人当たりの

当該事例の効果

・次エネルギー消費量

▲71%^{*1}

(同社本社ビルとの実績比)

ビル全体の省エネ効果

▲52%*²

一般のオフィスビル*³ との比較)

出典: http://www.toshiba.co.jp/env/jp/news/170124.htm

- *1:350MJ/人·月(夏季代表月評価)
- *2: 省エネ法における基準年間消費一次エネルギー量に対する比較。2,306MJ/m2・年(一般オフィスビル2008年度基準) と比較して1,104MJ/m2・年(東芝2015年度実績)に削減。(建物・設備機器の高効率化 37.8% スマートBEMS 14.2%)
- *3: (一社) サステナブル建築協会の基準より。